

25 journal

society&business Tokyo25 journal
執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

友の突然の死をきつかけに再会した、それぞれ違う人生を歩んできた初老の男性4人が、少年時代に夢見た

映画「ひみつきちのつくりかた」公開

監督が幼少期過ごしたあきる野で全編ロケ



初老の男性4人が少年時代に夢見た「ひみつきち」作りに没頭する物語 (写真提供= emir heart Inc. コピーライト: 2025 emir heart Inc.)

あきる野市出身の板橋知也さんが監督した長編映画「ひみつきちのつくりかた」が、7月18日〜26日に川口で開かれた「SKIPIシテイ国際Dシネマ映画祭2025」のコンペティション部門観客賞を受賞した。

「ひみつきち」作りに没頭する物語。「大人になりきれなかった」という板橋さんが自身の内面を4人の登場人物に投影し、「何歳に

なっても、心の奥底に宿る子どもの側面」という普遍的なテーマに挑んだ。同映画審査員のクイン・デ・ロイさんは「丹念に紡がれたシーンとせりふは、4人の登場人物それぞれの内面に観客をいざない、彼らが歩んできた道のりを理解するにつれて、自然と深い共感が生まれてくる。作品はより多くの人々に見ていただくのにふさわしい映画」と評価した。板橋さんはあきる野市で生まれ育ち、24歳まで暮らした。ロケでは、監督が幼少の頃から過ごしてきた同市の情景と板橋さんの実家や祖母の家も使った。



中嶋あきる野市長を表敬訪問した板橋さん (左から2人目)

東放学園映画専門学校映画制作科(現東放)の7月31日、中嶋博幸あきる野市長を表敬訪問し公開を報告した。

「種から魅せる！レンゲショウマ」

御岳山でまえのかつみさんの写真展



御岳山のレンゲショウマ

レンゲショウマはキンポウゲ科の多年草。7月下旬から9月上旬にかけて、紫がかった白い花を咲かせ、「夏の妖精」とも言われる。御岳山には約5万株が群生する。まえのさんは御岳山のレンゲショウマに20年ほど前に出会い、一目惚れ。翌年写真集を出版した。2012年にも新刊のレンゲショウマ写真集を出している。

御岳登山鉄道(青梅市御岳山)の山頂近くの大展望台休憩所で写真展「種から魅せる！レンゲショウマ」が開かれている。写真家まえのかつみさんが近年撮りためた30点を展示する。会場には、種の面白い姿をはじめ、種から芽が出た時の様子、蕾の魅力、雨の日や霧の日の魅力的な姿など知られざるレンゲショウマの写真が並ぶ。開催時間は10時〜15時。8月30日まで。入場無料。

福生「茶室福庵」で箏の世界を体験

小中学生対象に夏休みイベント



福生市が管理する茶室福庵(福生市熊川)で8月30日、小中学生を対象に「福庵へGO!!!ふっさつ子集まれ!わくわく体験

空間 大きく、みる、さわってかんじる箏のせかい!が開催される。当日は、和の空間で、箏の音色や魅力を間近で楽しむ。箏のミニコンサートは、若手の箏奏者として知られる同市出身の和楽器集込み。

羽村市が「子ども・若者アンケート」

「あなたは羽村が好きですか」

羽村市は小学生から大学生世代を対象にした「子ども・若者アンケート」を実施する。これからの羽村市を担う若い世代が大人になった時も暮らしやすいまちづくりを目指し、第6次羽村市長期総合計画後期基本計画の策定に向けて活用を図る。アンケート対象者は市内在住・在学・在勤の小中学生(大学生世代はおおむね22歳程度)の人。期間は7月28日〜9月30日。インターネット経由で回答を募る。設問は、「あなたは羽村が好きですか」、「あなたは今の程度幸せですか」、「羽村市外に住んでいる方に羽村市を勧めたいと思いますか」について10点満点で点数をつけてもらう。また、「皆さんが大

団「鳳雛」所属の城戸さくらさんと三谷夏香さんが出演。曲目は「茶音頭(古曲)」「マイフエイバレットシングダス」「パイレーツオブカリビアン」。箏の体験コーナーも設ける。茶室福庵は「文化の森」の静かな場所にある純和風の建物。茶道をはじめ、俳句、琴、華道、会議など多目的に利用されている。開催時間は、13時30分〜14時30分、15時30分〜16時30分。定員は各回10人。要事前申し込み。